

宗教学・オカルト・日本思想史・催眠・医療史研究者へ！

吉永 進一 監修・編・解説
栗田 英彦 編・解説

術と行の近代

——精神療法・霊術・宗教——

第一回配本 全4巻

明治末から昭和初期にかけて、治療者数だけで三万人といわれた
民間精神療法の一時代があった！

精神療法家による理論、実践、奥伝を含んだ冊子、定期刊行物を、内外からの批判、伝統宗教との対峙、業界の主導権争いが浮かび上がるような構成で編纂する。

これまでに出版された精神療法史研究書では扱いきれなかった領域を補い、研究史を点から面へと広げる貴重資料。

クレス出版

吉永 進一

民間精神療法の基本的資料については、すでにクレス出版より三つの復刻本シリーズが出版されており、その後、国会図書館デジタルコレクションでも多くの資料が公開されている。精神療法史の基本的な資料は利用可能になっている。さらに『近現代日本の民間精神療法』(国書刊行会、二〇一九年)などの研究もあり、その歴史も明らかにしつつある。とはいえ、いまだ語り尽くされずに残っている領域は広い。たとえば、技法についても未復刻の秘伝書は多く、利用者の側の体験記となるとさらに少ない。また、精神療法は、その黎明期から末期にいたるまで神道や仏教などとさまざまな交流を保ちながら存続してきたが、これについても十分には議論されていない。さらに、療法家たちのネットワークや抗争などについても、団体の機関誌や業界誌、あるいは同時代の一般誌など、定期刊行物を通さなければ分からないが、この点もまだまだ研究されていない。本叢書では、こうした点を補い、精神療法史を点から面へと広げていくという意図で資料を選んだ。

その一端を紹介しておけば、「二人で出来る健康法」は、著者による江間式や太

霊道など六つの精神療法の体験をまとめたものであり、実際の体験談の記録は貴重である。『祈祷師開業手続全』は、最も容易に祈祷師の免許をとって治療を行うノウハウを説明したもので、教派神道の内幕暴露を含み、新宗教研究にも参考になるだろう。『禪と催眠術』の著者はのちに駒澤大学学長を務める岡田宜法であり、心理学者による禪の分析ではなく禪の側からの比較である。同様に『幻々要集』の著者、中村環は居士仏教者で催眠術師としても一世を風靡した幻々居士のことであり、アメリカ人仏教徒ビゲローへの説法という注目すべき一編を含んでいる。

定期刊行物としては、精神療法家を輩出し最初に業界団体を組織した古屋鉄石の『精神新報』、古屋に続いて業界のまとめ役となった清水芳洲(英範)の『精神統一』、そして清水と対立していた『通俗医学』は、業界内の人脈をたどる上で貴重な資料となろう。木原鬼仏の『心霊界』、『太霊道』、松本道別の『霊学春秋』は大本と精神療法の抗争を知る上で重要である。

このように、本叢書は精神療法史を充実させるだけでなく、既成仏教、教派神道、新宗教も視野に含んで、術と行の近代史という、より広い研究領域の出発点となることを期待する。

◆◆◆ 収録一覧 ◆◆◆

(各収録書籍の内容のうち、項目を抜粋した場合は本尾に「他」を記載)

第1巻 精神療法の諸相 (1)

檜山式療養法伝授録 全

●檜山鏡心／一九一八年／研精社
前期(自己療養法) (各第一巻～第四巻)
学理篇/檜山式療養法の特徴/精神療法の意義/人類の成生/宇宙の成生/宇宙の本体論/科学者もまた霊を認む/人類起源論/身体論(他)

●修養篇(横隔膜の話)／怒りは何故に敵なるか／修養に就ての誤解、迷信を排斥せよ／平常の心得／人を呪はば、穴二つ他)

●実習篇(精気とは何ぞや)／精神力の蓄積／精気呼吸法／精力充実法(他)

●後期(他力治療篇) (各第五巻・第六巻)
学理篇/心性論/身心相関論/病理論/病原論/病種論/薬理論(他)

●修養篇(神経の過敏と敏捷)／食物は腸に食べよ／海舟居士の長寿の法(他)

●実習篇(普通の精神療法と檜山式療法との比較)／医療と檜山式療法との比較／催眠術と檜山式療法との比較／揉療治と檜山式療法との比較／疾病治療法／悪癖矯正法／体質氣質性相の改造／運命の開拓(他)

純心靈研究と現代霊術の正体

●清田文右衛門／一九二六年／皇国修霊会本部

●第二編 山師的霊術の正体／第二編 現代各派霊術の研究／第三編 心靈現象の研究／第四編 修養哲学の研究／第五編 身心改造修霊法の研究

第三編 心靈現象の研究

第一章 歐米に於ける心靈研究の發達

心靈現象の發生は其の淵源甚だ古く、靈的研究は日本を始め埃及、印度、支那、希臘、羅馬等あらゆる古代文明の歴史に看出ることが出来る。又世界の大宗教中その發生の根源が、靈示警告の所産でないことは一つとしてない。所謂現今の凡ての宗教が、心靈現象を除いては他に何等の根柢をも認めることが出来ない。然し乍ら基督教的心灵現象は十八世紀十九世紀前半に於ける科學者の見地からすれば、唯宗教上の方便又は假定等であつて、甚だしいに成ると一種の迷信であり、虚偽であるとしてきたのである。従つて心靈現象の研究は彼の唯物論者の爲めに壓迫されて、社會の裡面に潜伏してゐたが、十九世紀の半頃、米國の大哲學者米國大學講師クラフツォード氏(Crawford)がその大著(After Death, Wang)に

第三編 心靈現象の研究

五十一

第2巻 精神療法の諸相 (2)

一人で出来る健康法

●石黒憲輔／一九二九年／大阪屋号書店

江間式心身鍛錬法／太霊道(太霊道霊理学、太霊道霊子術、太霊道の修法)／国民自健術(自健術療法の医学的見解)／見道教会精神療法(見道教会設立の趣意)／木村式生気療法／林式健体術

神占霊術 祈祷師開業手続全

●日本仏教新聞社編輯／一九三五年／日本仏教新聞社

一 禁厭祈禱及神占に就いて／二 開業者の資格／三 宗派四 管長及其職務／五 教派／六 教会及講社／七 神道諸流と仏教及陰陽道／八 神道各派教義の概要並に其祭神／九 各派教師養成所／十 学校／十一 検定試験／十二 無試験検定／十三 如何にせば師を求め得るか／十四 教師称号及階級／十五 試験準備／十六 無免許者／十七 靈術及其他／十八 易占業／十九 募集の時期／二十 宗教法案と新試験制度／二十一 神道教師と禁厭祈禱／二十二 營業の自由と法律上の制限／二十三 仏教主義の行者

第3巻 精神療法と宗教 (1)

精神作興 活きた宗教 全

●清水芳洲／一九二四年／東京心理協会本部、二松堂書店

緒論 今回の大震災と天警／第一章 神人の交感／第二章 人生の救済と慰安／第三章 神靈の存在／第四章 心靈哲学／第五章 社会及び民心の改造

胆力養成 前野式静座法

●前野自雄／一九二七年／泰山房



法理図の動脈(自) 法理図の静脈(木)

第2巻 二人で出来る健康法より 木村式自己運動発現法

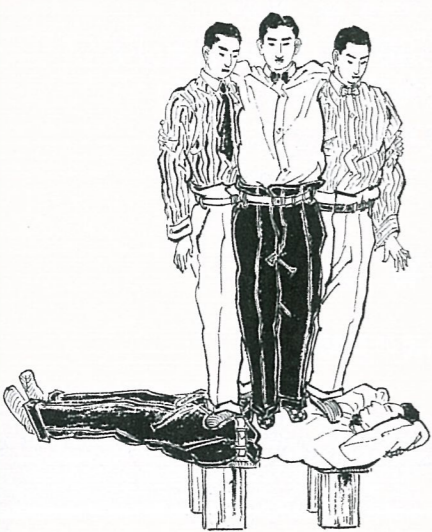
心靈學

第二章 迷信觀者の迷信と妄動

八六

世には一種自ら實つて幽明の交通や神人の交感を憑く迷信と説き去る徒がある。是は甚だ舊い慣用手段であつたが、今も猶或種の論者輩は得々として之を濫用し、頑固にして舊套を脱することが出来ぬのである。概して彼は此等心靈的現象を講究しはせず、只其は迷信だと妄断するのである。此等は何等の研究心も無く、外國の事蹟を直接に研究する知識も無く、只先輩の著書に憑依し、巧みに披萃し、轉載し、宛がら自分が初めから研究でもした者の如くに揚言し誇稱し、世間の無識なる讀者を欺ひかゝとしてゐるのである。淺ましい事である。過日某新聞紙上で或る妄評家のコナン、ドイル評駁を譯載して、开はテレバシイで説明し得らるべき事では無いと言つたと報じた處、世の雷同者輩はテレバシイ、テレバシイと言つ

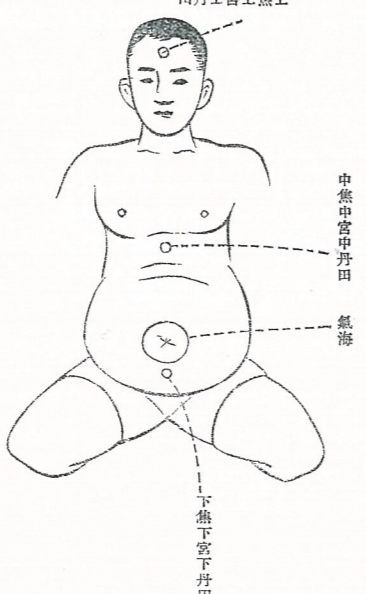
第2巻 二人で出来る健康法より 江間式鍛錬法



江間式心身鍛錬法剛力實験

第3巻 「活きた宗教」より 心靈哲学

上焦上當丹上丹田



中焦中當丹中丹田 氣海

下焦下當丹下丹田

※収録した原本書籍の状態によつては、文字の欠落や擦れ、頁の汚損、欠損等が見られるが、原本通りである。

幻々要集 全

●中村環／一九二七年／福田社刊行部

真理原則／悪人正機論／往生要義／願成弁要／臨終瑞相記／女性問答／对客户安／幸福の栞／衛養手引草／衛養図解／衛養概論／雜録／附録

第一章 効果ある静座法／第二章 眞の静座法／第三章 眞の静座の力

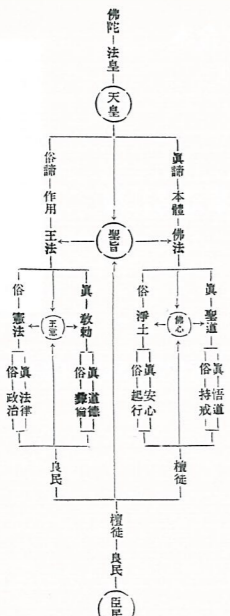
第4巻 精神療法と宗教 (2)

禪と催眠術

●岡田摘翠／一九〇九年／啓成社

第一章 緒論(第二章 懷疑・苦悶・光明)
第二章 本論(第三章 催眠術起法と禪)／第三章 座禪入定法と催眠術／第四章 催眠法と入定法との異同／第五章 催眠状態を禪より見たる／第六章 禪定の状態／第七章 催眠状態と定との異同／第八章 大悟界・解脫・安心／第九章 千里眼と神通力／第十章 催眠術治療と禪定治療の範圍／第十一章 人格変換に於ける催眠術と禪との範圍／第十二章 大信仰の必要／第十三章 意識転移説に就ての想像／第十四章 感応論／第十五章 結論

(第一圖) 日本國是



神道説

七

第4巻 「幻々要集」より 日本國是

術と行の近代——精神療法・霊術・宗教—— 第一回配本 全4巻

吉永 進一 監修・編・解説 栗田 英彦 編・解説

揃定価 91,300円 (税込) ISBN 978-4-86670-100-4(セット)

第1巻 精神療法の諸相 (1) 第3巻 精神療法と宗教 (1)

第2巻 精神療法の諸相 (2) 第4巻 精神療法と宗教 (2)

A5判/ハードカバー/C3347/2021年 7月25日刊行

※第二回配本：精神療法の定期刊行物 全2巻

- 「通俗医学」特殊療法特集号の抜粋
- 栗田英彦 「通俗医学」民間精神療法関連の目録リスト
- 吉永進一 全巻「総説」 など収録

クレス出版 好評既刊書 (定価はすべて税込)

人々の生活の中に息づく生きた信仰——「民間信仰」に関する文献を集成

民間信仰論選集 全5巻 西村 明 編・解説

揃定価 100,100円 ISBN 978-4-87733-930-2(セット)

- | | | | |
|-----|------------------|------------|------------------------|
| 第1巻 | 印度宗教史、比較宗教 迷信の日本 | 定価 22,000円 | ISBN 978-4-87733-925-8 |
| 第2巻 | 日本宗教史 | 定価 16,500円 | ISBN 978-4-87733-926-5 |
| 第3巻 | 民間信仰史 | 定価 17,600円 | ISBN 978-4-87733-927-2 |
| 第4巻 | 日本民俗学研究 | 定価 18,700円 | ISBN 978-4-87733-928-9 |
| 第5巻 | 民間信仰の話、神道思潮ほか | 定価 25,300円 | ISBN 978-4-87733-929-6 |



近代の神道研究を大成させた宮地直一・西田長男・津田左右吉らによる六冊の著作を復刻

神道研究選集 全6巻

揃定価 80,300円 ISBN 978-4-87733-856-5(セット)

- | | | | |
|-----|-----------|------------|------------------------|
| 第1巻 | 神祇史 | 定価 7,700円 | ISBN 978-4-87733-850-3 |
| 第2巻 | 続神祇史 | 定価 11,000円 | ISBN 978-4-87733-851-0 |
| 第3巻 | 神道史の研究 | 定価 11,000円 | ISBN 978-4-87733-852-7 |
| 第4巻 | 神道史の研究 第二 | 定価 22,000円 | ISBN 978-4-87733-853-4 |
| 第5巻 | 日本古典の史的研究 | 定価 17,600円 | ISBN 978-4-87733-854-1 |
| 第6巻 | 日本の神道 | 定価 11,000円 | ISBN 978-4-87733-855-8 |

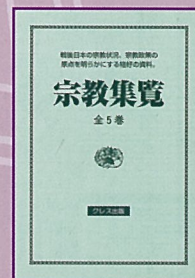


大正から戦後復興期までの宗教団体や宗教行政の動向を調査した年鑑を合本

宗教集覧 全5巻

揃定価 77,000円 ISBN 978-4-87733-242-6(セット)

- | | | | |
|-----|------|--------|-------------------------|
| 第1巻 | 宗教要覧 | 大正5年刊 | 文部省宗務局編 |
| 第2巻 | 宗教便覧 | 昭和23年刊 | 日本宗教連盟、文部省内宗教研究会、時事通信社編 |
| 第3巻 | 宗教年報 | 昭和26年刊 | 文部省宗務課編 |
| 第4巻 | 宗教要覧 | 昭和27年刊 | 文部省編 |
| 第5巻 | 宗教便覧 | 昭和29年刊 | 文部省編 |



〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メローナ日本橋
☎(03)3808-1821 ☎(03)3808-1822 <http://www.kress-jp.com/>

●書店名

 株式会社クレス出版